

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年11月14日

【四半期会計期間】 第49期第2四半期(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

【会社名】 株式会社サン・ライフ

【英訳名】 SUN・LIFE CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 比企 武

【本店の所在の場所】 神奈川県平塚市馬入本町13番11号

【電話番号】 0463(22)1233(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役業務支援本部長兼経理部長 石野 寛

【最寄りの連絡場所】 神奈川県平塚市馬入本町13番11号

【電話番号】 0463(22)1233(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役業務支援本部長兼経理部長 石野 寛

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第 2 四半期 連結累計期間	第49期 第 2 四半期 連結累計期間	第48期
会計期間	自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日	自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日	自 平成28年 4 月 1 日 至 平成29年 3 月31日
売上高 (千円)	5,388,409	5,408,667	11,322,050
経常利益 (千円)	446,522	400,044	1,244,512
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	284,601	262,306	523,320
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	240,855	276,534	532,220
純資産額 (千円)	5,596,110	5,963,032	5,790,228
総資産額 (千円)	35,853,515	35,831,940	36,141,588
1 株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	43.89	40.45	80.71
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	15.6	16.6	16.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	267,510	370,153	1,230,833
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	633,984	1,565,412	3,273,483
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	102,475	126,918	204,476
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	13,754,338	10,658,274	11,980,390

回次	第48期 第 2 四半期 連結会計期間	第49期 第 2 四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年 7 月 1 日 至 平成28年 9 月30日	自 平成29年 7 月 1 日 至 平成29年 9 月30日
1 株当たり四半期純利益金額 (円)	18.78	24.99

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についての異動は以下のとおりであります。

当第 2 四半期連結累計期間において、新たに設立した株式会社ペットセレモニーウェイビーを連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当第2四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績の分析は以下のとおりであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、個人消費の停滞感は続いており、依然として先行き不透明な状態です。

また、経済産業省「特定サービス産業動態調査」（サンプル調査、速報）によりますと、平成29年4～9月の結婚式場業の取扱件数は前年同期比7.9%減の37,475件、売上高は同6.5%減の101,735百万円となっております。一方、葬儀業の同期間の取扱件数は前年同期比2.6%増の201,609件、売上高は同1.6%増の285,244百万円となっております。

このような状況下、当社グループにおける各事業の取り組みと業績内容は以下の通りであります。

ホテル事業は、多様なご婚礼ニーズに応えるため、SNS・WEB広告を推進した結果、ご婚礼受注組数は前年同四半期比で増加しましたが、期中のご婚礼施行組数は減少したため、売上高は前年同四半期比19.5%減の954百万円となり、コスト削減、経費削減に努めましたが、営業損失は119百万円（前年同四半期営業損失は95百万円）となりました。

式典事業は、生前相談会、施設見学会・フェスタの週末開催等、お客様とのコミュニケーションを深める活動を推進してまいりました。また、平成29年4月には「サン・ライフ セレモニーホール多摩」（東京都多摩市）を新設し、積極的な営業エリアの拡充に努めました。また、前連結会計年度に開業した「ファミリーホール綾瀬」（神奈川県綾瀬市）、「サン・ライフ ファミリーホール湘南海岸」（神奈川県茅ヶ崎市）の順調な稼働もあり、ご葬儀件数は前年同四半期比で増加しました。一方、ご葬儀の小規模化に伴うご葬儀1件あたりの売上高は前年同四半期比で減少しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比0.5%増の3,783百万円となりましたが、新規斎場の開設に伴う広告宣伝費等の増加により、営業利益は前年同四半期比14.9%減の742百万円となりました。

その他の事業は、介護サービスご利用者の増加とサービス品質向上に努めてまいりました。また、住宅型有料老人ホーム3施設を譲受した結果、売上高は前年同四半期比53.0%増の671百万円、営業利益は前年同四半期比11.8%減の68百万円となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比0.4%増の5,408百万円、営業利益は前年同四半期比24.8%減の301百万円、経常利益は前年同四半期比10.4%減の400百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比7.8%減の262百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

資産合計は35,831百万円（前連結会計年度末比0.9%減）となりました。

a:流動資産

流動資産は11,755百万円（前連結会計年度末比10.1%減）となりました。これは現金及び預金の減少等が主たる要因であります。

b:固定資産

固定資産は24,076百万円（前連結会計年度末比4.4%増）となりました。建物等の取得による有形固定資産の増加、「住宅型有料老人ホーム」事業の譲受によるのれんの増加等による無形固定資産の増加、投資有価証券の増加等による投資その他の資産の増加が主たる要因であります。

負債

負債合計は29,868百万円（前連結会計年度末比1.6%減）となりました。

a:流動負債

流動負債は1,960百万円（前連結会計年度末比15.0%減）となりました。これは、未払金、買掛金及び未払法人税等の減少等が主たる要因であります。

b:固定負債

固定負債は27,908百万円（前連結会計年度末比0.5%減）となりました。これは、退職給付に係る負債、前払式特定取引前受金及びその他固定負債の減少等が主たる要因であります。

純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ172百万円増加し、5,963百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益262百万円の計上と配当金の支払103百万円の結果、利益剰余金が158百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が14百万円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

キャッシュ・フローの状況は、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）が前連結会計年度末に比べ1,322百万円減少し、10,658百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は370百万円（前年同期比38.4%増）となりました。これは、増加要因として税金等調整前四半期純利益363百万円、減価償却費277百万円があった一方、減少要因として法人税等の支払額215百万円があったことが主たる要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は1,565百万円（前年同期は633百万円の支出）となりました。これは、投資有価証券の取得による支出975百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出708百万円が発生したことが主たる要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は126百万円（前年同期は102百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払額103百万円があったことが主たる要因であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,680,000
計	25,680,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,820,000	6,820,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	6,820,000	6,820,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日	—	6,820,000	—	610,000	—	236,733

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社サカエヤ	神奈川県平塚市明石町25番1号	2,455	36.00
竹内 伸枝	神奈川県平塚市	420	6.15
株式会社ニチリョク	東京都杉並区上井草1丁目33-5	360	5.27
学校法人鶴嶺学園	神奈川県平塚市宮松町15-16	210	3.07
竹内 恵司	神奈川県平塚市	203	2.98
龍巖股份有限公司 (常任代理人 大和証券株式会社)	台北市松山區敦化路150號7樓 (東京都千代田区丸の内1丁目9番1号)	160	2.34
平塚信用金庫	神奈川県平塚市紅谷町11-19	150	2.19
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目2-1	100	1.46
サン・ライフ従業員持株会	神奈川県平塚市馬入本町13番11号	86	1.27
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6 日本生命証券管理部内	80	1.17
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1丁目23-1	80	1.17
計	-	4,305	63.13

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式が336千株(4.93%)あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 336,800	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,482,000	64,820	—
単元未満株式	普通株式 1,200	—	—
発行済株式総数	6,820,000	—	—
総株主の議決権	—	64,820	—

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が800株(議決権8個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が44株含まれております。

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サン・ライフ	神奈川県平塚市馬入本町13番 11号	336,800	—	336,800	4.93
計	—	336,800	—	336,800	4.93

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,050,469	9,019,295
売掛金	437,581	367,287
有価証券	182,027	182,029
商品	36,950	43,875
原材料及び貯蔵品	68,125	70,630
預け金	2,079,428	1,788,485
その他	224,441	285,987
貸倒引当金	3,486	2,408
流動資産合計	13,075,538	11,755,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,645,329	6,187,426
土地	7,706,058	7,706,058
その他（純額）	843,233	525,291
有形固定資産合計	14,194,621	14,418,777
無形固定資産		
のれん	206,895	310,556
その他	416,996	420,993
無形固定資産合計	623,892	731,550
投資その他の資産		
投資有価証券	3,816,831	4,446,213
供託金	1,077,965	1,082,465
その他	3,401,862	3,449,433
貸倒引当金	49,123	51,682
投資その他の資産合計	8,247,536	8,926,429
固定資産合計	23,066,050	24,076,757
資産合計	36,141,588	35,831,940
負債の部		
流動負債		
買掛金	541,686	477,294
未払金	627,261	380,406
未払法人税等	253,091	154,085
引当金	140,580	161,800
その他	741,984	786,592
流動負債合計	2,304,604	1,960,177
固定負債		
前払式特定取引前受金	27,102,061	27,072,198
引当金	65,328	71,338
退職給付に係る負債	129,396	80,419
その他	749,968	684,773
固定負債合計	28,046,755	27,908,729
負債合計	30,351,359	29,868,907

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	236,733	236,733
利益剰余金	5,170,089	5,328,664
自己株式	325,466	325,466
株主資本合計	5,691,355	5,849,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,872	113,101
その他の包括利益累計額合計	98,872	113,101
非支配株主持分	-	-
純資産合計	5,790,228	5,963,032
負債純資産合計	36,141,588	35,831,940

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	5,388,409	5,408,667
売上原価	4,003,505	4,162,270
売上総利益	1,384,904	1,246,397
販売費及び一般管理費	¹ 983,541	¹ 944,664
営業利益	401,362	301,732
営業外収益		
受取利息	1,863	8,054
受取配当金	17,507	34,772
前受金月掛中断収入	14,140	12,860
不動産賃貸収入	7,007	8,988
投資有価証券売却益	-	10,905
匿名組合清算益	-	50,256
その他	24,871	16,820
営業外収益合計	65,391	142,657
営業外費用		
不動産賃貸費用	5,045	4,840
前受金復活損失引当金繰入額	9,112	26,401
投資有価証券売却損	-	12,213
為替差損	2,877	-
その他	3,196	890
営業外費用合計	20,231	44,346
経常利益	446,522	400,044
特別損失		
固定資産除売却損	24,799	36,528
特別損失合計	24,799	36,528
税金等調整前四半期純利益	421,722	363,515
法人税、住民税及び事業税	189,565	138,152
法人税等調整額	49,012	36,943
法人税等合計	140,552	101,209
四半期純利益	281,169	262,306
非支配株主に帰属する四半期純損失()	3,431	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	284,601	262,306

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	281,169	262,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,314	14,228
その他の包括利益合計	40,314	14,228
四半期包括利益	240,855	276,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,286	276,534
非支配株主に係る四半期包括利益	3,431	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	421,722	363,515
減価償却費	259,169	277,682
のれん償却額	120,281	129,513
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	7,207	48,977
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,459	1,482
賞与引当金の増減額(は減少)	19,870	21,220
前受金復活損失引当金の増減額(は減少)	8,915	6,010
投資有価証券売却損益(は益)	-	1,307
受取利息及び受取配当金	19,371	42,826
有形固定資産除売却損益(は益)	24,799	36,528
匿名組合清算損益(は益)	-	50,256
売上債権の増減額(は増加)	12,953	70,294
たな卸資産の増減額(は増加)	3,494	9,430
仕入債務の増減額(は減少)	30,420	64,391
未払金の増減額(は減少)	69,694	47,695
前払式特定取引前受金の増減額(は減少)	41,701	29,863
保証金の増減額(は増加)	18,485	932
破産更生債権等の増減額(は増加)	4,106	2,559
その他の流動資産の増減額(は増加)	74,053	77,335
その他の流動負債の増減額(は減少)	71,505	23,466
その他	3,572	9,506
小計	531,287	547,245
利息及び配当金の受取額	21,714	38,188
法人税等の支払額	285,492	215,301
法人税等の還付額	1	20
営業活動によるキャッシュ・フロー	267,510	370,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	431,049	708,265
有形及び無形固定資産の除却による支出	10,625	15,859
投資有価証券の取得による支出	500,000	975,375
投資有価証券の売却による収入	-	338,391
投資有価証券の償還による収入	300,000	26,568
供託金の預入による支出	3,500	4,500
貸付けによる支出	1,160	2,460
貸付金の回収による収入	58,528	4,839
匿名組合清算による収入	-	50,256
事業譲受による支出	-	237,665
その他	46,177	41,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	633,984	1,565,412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	96,999	103,405
その他	5,476	23,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,475	126,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,877	60
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	471,826	1,322,116
現金及び現金同等物の期首残高	14,226,164	11,980,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 13,754,338	1 10,658,274

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ペットセレモニーウェイビーを連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
役員報酬	71,379千円	70,684千円
給与手当	309,251千円	321,214千円
賞与引当金繰入額	49,945千円	49,450千円
退職給付費用	16,291千円	39,615千円
のれん償却額	120,281千円	129,513千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)
現金及び預金勘定	11,623,939千円	9,019,295千円
預入期間が 3 ヶ月超える定期預金	331,531千円	331,536千円
有価証券のうちMMF及びMRF等	251,655千円	182,029千円
その他流動資産(預け金)	2,210,274千円	1,788,485千円
現金及び現金同等物	13,754,338千円	10,658,274千円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年 6 月27日 定時株主総会	普通株式	97,247	15	平成28年 3 月31日	平成28年 6 月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月14日 取締役会	普通株式	97,247	15	平成28年 9 月30日	平成28年11月30日	利益剰余金

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年 6 月23日 定時株主総会	普通株式	103,730	16	平成29年 3 月31日	平成29年 6 月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年11月13日 取締役会	普通株式	97,247	15	平成29年 9 月30日	平成29年11月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,185,244	3,764,526	4,949,770	438,639	5,388,409	—	5,388,409
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	99,826	—	99,826	10,325	110,152	110,152	—
計	1,285,070	3,764,526	5,049,597	448,964	5,498,562	110,152	5,388,409
セグメント利益又は 損失()	95,897	872,955	777,058	78,193	855,251	453,888	401,362

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 453,888千円には、セグメント間取引消去31,891千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 485,780千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	954,351	3,783,182	4,737,533	671,133	5,408,667	—	5,408,667
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	107,547	—	107,547	9,779	117,327	117,327	—
計	1,061,898	3,783,182	4,845,081	680,913	5,525,994	117,327	5,408,667
セグメント利益又は 損失()	119,655	742,834	623,178	68,969	692,148	390,415	301,732

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 390,415千円には、セグメント間取引消去31,654千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 422,070千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントの介護事業において、事業譲受によるのれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、214,655千円であります。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	43円89銭	40円45銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	284,601	262,306
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	284,601	262,306
普通株式の期中平均株式数(株)	6,483,156	6,483,156

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第49期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)中間配当については、平成29年11月13日開催の取締役会において、平成29年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	97,247千円
1株当たりの金額	15円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成29年11月30日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月14日

株式会社サン・ライフ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野 島 透 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 慶 典 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サン・ライフの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サン・ライフ及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。